

講演会

「婦人科がんに対する妊孕性温存 治療の現状と課題」

日時:平成28年11月1日(火)16時00分～18時00分

場所:岩手医科大学創立60周年記念館9階 第2講義室

対象:大学院生、医師、看護師、インテンシブコース受講生等

～プログラム～

司会:千葉 淳美 先生(岩手医科大学 産婦人科学講座 講師)

座長:板持 広明 先生(岩手医科大学 産婦人科学講座 教授)

開会の辞:杉山 徹 先生(岩手医科大学附属病院 病院長、
岩手医科大学 産科婦人科学講座 教授)

講演:

(1)「妊孕性温存を希望する初期子宮体がん患者に対するホルモン療法」

山上 亘 先生(慶應義塾大学医学部 産婦人科学教室 助教)

(2)「妊孕性温存を希望する初期卵巣がん患者に対する機能温存手術」

梶山 広明 先生

(名古屋大学・大学院医学系研究科

総合医学専攻 発育・加齢医学講座 産婦人科教室 准教授)

(3)「妊孕性温存を希望する子宮頸部前がん患者に対する機能温存手術」

大石 徹郎 先生

(鳥取大学器官制御外科学講座

生殖機能医学分野(産科婦人科学) 講師)

(4)「妊孕性温存を希望する初期子宮頸がん患者に対する機能温存手術」

京 哲 先生(鳥根大学医学部産科婦人科 教授)

閉会の辞:菅井 有 先生(岩手医科大学 病理診断学講座 教授)

本シンポジウムは、TV会議システムを利用して遠隔大学にライブ配信され、双方向で討議を行います。ご興味のある方は是非ご来場下さい。(聴講自由)